

学校用品研究室

学校での“ふせん”の使い方、教えてください!



Q 学校でふせんをよく使うのは、どのような場面ですか?
具体的にどのような使い方をしていますか?



1 子どもの提出物のチェック中 45票

宿題のチェック中に、誤字や脱字を指摘したり、やり直しを指示したりするのに使っている先生が多いようです。目立つので子どもも気づきやすく、直接書き込めないものにも使える点が便利なようです。



目印になりやすくコメントも書ける、やや小さめのふせんを使う先生が多いようです。

オススメの使い方

間違いや直しがあるところにふせんを貼り、子どもが分かりやすいようにしています。貼ったふせんは、子どもには取らせず、こちらで直しを確認したときに取っています。(30代女性の先生)



先生方にアンケートをとりました!



2 事務処理中 42票

自分の業務のメモや、教職員どうしの連絡にふせんを活用する先生も多いようです。採点やプリントの印刷のときに、しおりとしても使うという意見もありました。



オススメの使い方

複数の学級の授業を担当しているので、各学級の進捗が分かるよう教科書に貼っています。(60代女性の先生)

メモや連絡用には、たくさん書ける大きめのものや、動物などの形のもの、かわいい柄のものも人気です。



3 授業中 16票

授業中の活動にふせんを活用するアイデアも寄せられました。書いたものを自由に動かせることが活用のポイントになっているようです。

オススメの使い方

作成した新聞に、子ども同士でアドバイスを貼り合います。友達にももらったふせんはノートに貼らせませす。そのアドバイスは「社説」や「まとめ」にも生かされます。(20代女性の先生)



オススメの使い方

子ども同士で議論するとき、考えを書いて、模造紙の上で貼りかえたり移動したりして使っています。(20代男性の先生)



子どもが使うときは、書き込みやすい無地の大きいふせんがいいですね。色で分類する使い方もあるようです。



いろいろ選べる アイデアふせん

学校で使える、ユニークなふせんを紹介します。



ポスト・イット®ふせん 全面強粘着タイプ(友友スリーエム)

粘着力が強く、全面にのりがついているタイプ。はがすときはきれいにはがせます。

貼ったまま読める透明付箋紙 (無印良品)

半透明になっているので、直接書きこみたくない資料の上に貼ってペンやえんぴつで書き込めます。



現在Webでは、「先生の七つ道具」「採点用の筆記用具」の特集を公開中。ぜひご覧ください!

えんぴつ先生 検索

